

西陵中・幌別西小 小中連携だより

発行：西陵中学校・幌別西小学校 小中一貫教育推進協議会 平成30年8月31日【第2号】

「この校区の子どもたちを9年間で育てたい」 今年度1回目の小中全体交流会を開催しました

8月24日(金)に幌別西小学校で行われた今年度第1回目の小中全体交流会。中学校の教員が小学校全学級の授業を見学した後、グループに分かれて、活発な意見交流を行いました。今後は、この日話し合ったことをもとに、後期の教育活動に活かしていきます



「小中の全教員が一同に会する場は大変貴重。お互いの良い所を吸収し、教育活動に活かしていきましょう。」
「今年も英語や体育、音楽などで出前授業をお願いします。」
「重いランドセル・カバンについて、検討していきましょう。」

「中学校では、小学校の指導を基本にして、委員会活動等を活用しながら、学習規律の定着に努めています。」

「朝読書は、落ち着いた雰囲気ので授業をスタートすることができるので、小中ともに効果が大きいです。」

「全校体力テストは、とても意欲的に取り組んでいます。」



「中学校ではチームスポーツの部が人数不足で困っています。小学生に部活動を紹介する機会があれば良いのですが…。」

「スマホの所持率が年々高くなっています。小中ともに個人情報に対する意識を高める必要があります。」

「AED講習等、教職員の研修も互いに補完し合えるような連携も必要ではないでしょうか。」

(ウラ面もあります)

地震から津波発生を想定した 「小中合同避難訓練」を実施

8月25日(土)が雨天だったため、28日(火)に実施しました。授業中に地震が発生し、小中それぞれのグラウンドに避難した後、中学生と小学生が小学校のグラウンドに集まり、津波被害から逃れるために高台に避難するという予定された訓練です。しかし、実際に津波がこの地域を襲って来た時には、建物が壊れていたり、道路がふさがれていたり、他に避難しようとする人たちや車で混雑したりして、予定通りにはいかないでしょう。その時は、まず「自分の命は自分で守ること」を最優先に、その時その場で最善と思われる行動を取るようにしたいものです。

避難の仕方や避難にかかる時間が年々改善されていることは、素晴らしいことです。ただ、大切なのは「訓練は本番のつもりで真剣に、本番は訓練のつもりで冷静に」という気持ちです。避難中におしゃべりをしてしまったことなど、反省すべき点があります。命を失ってしまえば、「また次の機会」はないということを肝に銘じていきたいですね。



小学校のグラウンドで小学生と中学生が手をつないで二人(三人)一組に



実際には高台まで登らず、入口を確認後戻ってきました



中学校のグラウンドに小中全員が集まり、市役所防災担当の方から講評をいただきました

9月1日は、**防災の日**です。1923年(大正12年)9月1日に発生した関東大震災にちなんでいます。災害についての認識を深め、日頃から災害に対処する準備や心構えをしておきましょう。